

## 報告事項4

# 都市計画公園・緑地見直しの取組状況について

名 称	開催年月日	議 題 等
第155回 藤沢市都市計画審議会	2016年(平成28年) 5月27日	藤沢市都市計画公園・緑地の見直しについて【諮問】 (見直し専門部会の設置及び委員の指名)
第1回 都市計画公園・緑地見直し専門部会	2016年(平成28年) 6月27日	1. 本部会の運営について 2. 見直し対象公園・緑地の現況について 3. 見直しの進め方について
第2回 都市計画公園・緑地見直し専門部会	2016年(平成28年) 7月26日	1. 現地視察について
第157回 藤沢市都市計画審議会	2016年(平成28年) 8月26日	都市計画公園・緑地見直しの取組状況について【報告】
第3回 都市計画公園・緑地見直し専門部会	2016年(平成28年) 9月7日	1. 様々な観点における公園・緑地の配置について 2. 見直しカルテ(案)について
第4回 都市計画公園・緑地見直し専門部会	2016年(平成28年) 11月17日	1. 見直しカルテ(案)について
第159回 藤沢市都市計画審議会	2016年(平成28年) 11月25日	都市計画公園・緑地見直しの取組状況について【報告】
第5回 都市計画公園・緑地見直し専門部会	2017年(平成29年) 1月24日	1. 見直しカルテ(案)について

## (1) 見直しカルテ（案）について

- ・ 第4回 見直し専門部会での検討をふまえ、見直しカルテ（案）を再検討したもの及び見直しの方向性の考え方等について、議論を実施
- ・ カルテ表面には、公園・緑地の基礎情報等を記載。

■カルテ(案)表面

名称	2・2・68	計画面積(A)	約 0.16 ha	当初決定年月	1957年(昭和32年)	12月	用途地域	近隣商業地域	容積率	80%
種別	入野公園	供用面積(B)	約 0.05 ha	最終決定年月	1970年(昭和45年)	11月	その他の地区	準浸水想定区域	容積率	200%
位置	緑区字中橋通	専断面積(C)	約 0 ha	経過年数	約 13年	地区	急傾斜地崩壊危険区域	その他1		
種別	緑区字中橋通	開放率(D+E/A)	約 31%	人口集中地区(D)			土砂災害警戒区域	その他2		

  

① 名称、種別、位置、面積、都市計画決定年月、用途地域、土地利用関連等

② 都市計画決定理由及びその後の経過

③ 公園の誘致圏域内における未到達区域等

④ 公園に類する機能を有する周辺施設

⑤ 都市計画総括図

・ 公園類似施設の立地状況

⑥ 航空写真

・ 公園及び周辺の特徴

⑦ 土地利用状況図

⑧ 都市計画基本図

・ 道路幅員別現況図

※カルテは今後の検討のなかで変更する場合があります。

- ・ カルテ裏面には公園機能に係る評価項目から総合評価（見直し結果）までの事項を記載

### ■ カルテ(案)裏面

長期未着手都市計画公園「緑地見直しカルテ(案)」		公園名称:2-2-68 入町公園 No.37		
評価項目		評価 (優劣等の有無)	評価理由	
1 機能	1-1 防災	(1)避難場所、避難路 ①当該公園「緑地」を避難場所や避難路等で利用するにあたり、周囲の道路は幹線道路等から6m程度の幅員で接続しているか、又は公園整備により行き止まり道路が解消される可能性があるか ②当該公園「緑地」の周辺に木造密集地などの延焼危険度の高い地域や消防活動困難区域があるか	ある ない	
		(2)自然災害からの防御 ①当該公園「緑地」が津波浸水想定区域に近接している場合、津波災害想定時における避難場所等として、利用が可能であるか ②土砂災害警戒区域及びその周辺区域にある場合、当該公園「緑地」は住宅地等とのバッファゾーンになりうる機能があるか	ある ない	
	1-2 景観	(1)清浄な風致の形成と、歴史文化の継承 ①当該公園「緑地(長期未着手区域)」に文化財や良好な景観要素があるか	ある ない	①
		(2)地域の優れた景観形成 ①当該公園「緑地(長期未着手区域)」に良好な樹林地があるか	ある ない	
		(3)市街地の景観演出 ①自然的な景観要素が少ないなど、当該公園「緑地(長期未着手区域)」は、良好な街なみ形成に寄与する機能があるか	ある ない	
	1-3 環境保全	(1)快適な生活環境の形成 ①当該公園「緑地」の周辺に緑が少ないなど、当該公園「緑地(長期未着手区域)」は、住生活環境の向上に寄与する機能があるか	ある ない	
		(2)生きものの生息環境の形成 ①当該公園「緑地」の区域内において、過去に自然環境の実態調査等が行われた場合、希少な生きものが生息、生育する機能があるか	ある ない	
		(3)自然の水循環の維持 ①当該公園「緑地」の周辺に農地や樹林地等の地下水を涵養する機能があるか	ある ない	
	1-4 レク	(1)日常的なレクリエーションの場の形成 ①近隣住民の遊び場や憩いの場が周辺に存在しないなど、当該公園「緑地(長期未着手区域)」を整備した場合、地域住民の高い需要があるか ②当該公園「緑地」を利用する可能性が高いコミュニティ関連施設(市民センター・公民館、幼稚園・保育園、老人ホーム、病院等)が周辺にあるか	ある ない	
		(2)自然とのふれあいの場の形成 ①当該公園「緑地(長期未着手区域)」に既存樹林がある場合、これを生かした自然とのふれあいの場の提供など、環境教育フィールド等としての機能があるか	ある ない	
2 必要性 (まちづくりの整合)	①当該公園「緑地(長期未着手区域)」を廃止した場合に想定される新たな土地利用形態が、現在の周辺環境を大きく悪化させる可能性があるか	ある ない		
	②大規模土地利用転換などにおける新たなまちづくりにともない、当該公園「緑地」の必要性があるか	ある ない	②	
	③周辺の都市計画(用途地域、道路等)の見直しにともない、当該公園「緑地」の必要性があるか	ある ない		
3 実現性	③	県用済済費割合 約31% 事業中済済費割合 約0% 長期未着手済済費割合 約69%	土地区画整理事業等 なし (整備済・事業中・未着手) 他の都市計画事業との関連 都市計画道路 なし (整備済・事業中・未着手) 都市計画河川 なし (整備済・事業中・未着手)	
	④	周辺の都市公園 あり 類似施設 あり	総合評価 ⑥	
5 都市計画制限	⑤			

- ① 公園・緑地の「機能」  
(4つの機能に着目した評価項目を設定)
- ② 公園・緑地の「必要性」  
(周辺まちづくりとの整合)
- ③ 公園・緑地整備の「実現性」  
(上位計画の位置付け、周辺の都市計画事業等との関連性)
- ④ 公園・緑地関連施設の「代替性」  
(類似施設の有無・担保性)
- ⑤ 公園・緑地が都市計画決定されていることによる「都市計画制限」
- ⑥ 上記をふまえた「総合評価」

※カルテは今後の検討のなかで変更する場合があります。

部会における主なキーワード  
・ 防災機能 (津波、火災、行き止まり道路)

・ コミュニティ関連施設 (小学校等)

## 報告事項 4

# 都市計画公園・緑地見直しの取組状況について